

## 維持管理 三木田 基本事項

### 1) 施設規模

処理方式 JARUS- I 1 系列  
計画処理人口 350 人  
供用率 99 %

### 2) 業務期間

自 令和 8 年 4 月 1 日  
至 令和 9 年 3 月 31 日

### 3) 基本管理回数

生物膜法

巡回管理 1 ヶ月に 1 回 = 年間 12 回 C AorF  
技術管理 1 ヶ月に 1 回 = 年間 12 回 C

### 4) 業務計上人員

本業務における人員について、施設構造及び整備状況により、その管理作業において、有毒ガスの発生や酸欠及び感電の危険性を伴う場合もあり、さらには各槽の深さや構造などから転落の危険性を伴うため、労働安全衛生法等、災害防止関係諸準則の厳守と労働災害防止を考慮し、管理につきましては 2 人 1 組での管理体制といたします。

- ・巡回管理－管理技術者（浄化槽管理士・巡回管理現場責任者）及び補助技術者
- ・技術管理－主任技術者（浄化槽技術管理者・業務責任者）

#### ①基準業務人員

##### I. 巡回管理（年間）

管理技術者 人  
補助技術者 人

##### II. 技術管理

主任技術者 人

#### ②補正值

##### I. 処理人口別補正

M 1 =

##### II. 供用率別補正

∴ 供用率 99 % M 2 =

故に、総合補正值 M = M 1 × M 2 = × =

#### ③計上業務人員（基準業務人員×総合補正值）

##### I. 巡回管理

管理技術者（技師C） = × = 人  
補助技術者（技術員） = × = 人

##### II. 技術管理

主任技術者（技師A） = × = 人

### 5) 水質試験（浄化槽法第 1 1 条検査は含まない）

(放流水) BOD, SS	D	各	12	(1 回 / 1 ヶ月)
(放流水) 大腸菌数	h	各	2	(1 回 / 6 ヶ月)
(放流水) PH, COD	D	各	12	(1 回 / 1 ヶ月)
(放流水) T-N, N-Hex	h	各	2	(1 回 / 6 ヶ月)
(流入水) BOD, SS	J	各	0	
(流入水) PH, COD	J	各	0	
(流入水) T-N, N-Hex	J	各	0	

### 6) 中継ポンプ施設の保守点検

施設箇所数 0 ヶ所

### 7) 薬品使用量（塩素剤）

kg (別途支給)

## 8) 管理基本条件

### ①通常管理業務

施設管理者（発注者）と、その他関係者も含め詳細な打ち合わせの上、作業分担を作成し、点検項目に基づいて業務にあたります。また、この結果については「維持管理点検報告書」を提出いたします。

### ②緊急時管理

施設管理者（発注者）と綿密に協議を行った上に、下記を原則として体系の確立を行います。（処理施設）→警報「巡回管理責任者：即応体制」→「技術管理主任技術者：第2体制」→「土地連維持管理推進室：第3体制」→連絡、報告「施設管理者」

### ③日常管理

し渣回収集積所搬出、管理棟管理、場内整備（清掃）、植栽管理、除雪等、日常管理に係わる作業の一部については、本業務に含まれております。

### ④清掃業務（汚泥引き抜き、運搬、処分）

本業務には、処理施設内における汚泥の移送作業等の汚泥管理については、含まれておりますが、清掃業務については含まれておりません。但し、清掃時期の的確な判断、助言及び汚泥処理計画への協力や、清掃業者との連絡調整及び清掃時の立ち会い協力については、必要に応じ対応いたします。

### ⑤法定検査立ち会い

浄化槽法に基づく法定検査への立ち会い協力を含みます。

### ⑥啓蒙普及活動への協力

地元管理組合への指導助言や、施設使用者に対する講習会等啓蒙普及活動への協力対応をいたします。

### ⑦施設更新計画

施設の補修や更新計画への協力対応を含みます。

### ⑧中継ポンプ施設 無

### ⑨処理施設及び中継ポンプ施設の故障等不具合時の取扱

処理施設及び中継ポンプ施設に故障等が発生し場合は、施設管理者に故障発生連絡後、その故障箇所を特定し見積書を添付のうえ文書により報告していただきます。

## 9) 委託業務の引継等

### ①予備調査

委託業務を受託したものは、速やかに流入水量、水質及び処理施設の特性等の調査を行い、受託業務に支障ないよう努めなければならない。

### ②委託契約完了後の措置

1. 受託者は、委託契約期間が終了した場合、貸付された施設等について委託者の職員立会いを求め、速やかに原形に復して返還しなければならない。
2. 受託者は、翌年度の委託業務による正常な運転が継続できるよう、委託者の指示に従い引継ぎに必要な期間、委託業務に係る熟練者を配置しておかななければならない。

## 10) 技術者単価及び労務単価等について

技術者単価及び労務単価は、秋田県実施単価表（令和8年2月1日以降適用）に基づき積算しています。

以上の基本的事項に基づき費用積算を行います。

## 維持管理 鎌沢 基本事項

### 1) 施設規模

処理方式 JARUS- I 1 系列  
 計画処理人口 330 人  
 供用率 100 %

### 2) 業務期間

自 令和 8 年 4 月 1 日  
 至 令和 9 年 3 月 31 日

### 3) 基本管理回数

生物膜法  
 巡回管理 2 週間に 1 回 = 年間 26 回 b AorF  
 技術管理 1 ヶ月に 1 回 = 年間 12 回 C

### 4) 業務計上人員

本業務における人員について、施設構造及び整備状況により、その管理作業において、有毒ガスの発生や酸欠及び感電の危険性を伴う場合もあり、さらには各槽の深さや構造などから転落の危険性を伴うため、労働安全衛生法等、災害防止関係諸準則の厳守と労働災害防止を考慮し、管理につきましては 2 人 1 組での管理体制といたします。

- ・巡回管理－管理技術者（浄化槽管理士・巡回管理現場責任者）及び補助技術者
- ・技術管理－主任技術者（浄化槽技術管理者・業務責任者）

#### ①基準業務人員

##### I. 巡回管理（年間）

管理技術者 人  
 補助技術者 人

##### II. 技術管理

主任技術者 人

#### ②補正值

I. 処理人口別補正 M 1 =

II. 供用率別補正 ∴ 供用率 100 % M 2 =

故に、総合補正值 M = M 1 × M 2 = × =

#### ③計上業務人員（基準業務人員×総合補正值）

##### I. 巡回管理

管理技術者（技師C） = × = 人

補助技術者（技術員） = × = 人

##### II. 技術管理

主任技術者（技師A） = × = 人

### 5) 水質試験（浄化槽法第 1 1 条検査は含まない）

（放流水）BOD, SS D 各 12 （1 回／1 ヶ月）

（放流水）大腸菌数 h 各 2 （1 回／6 ヶ月）

（放流水）PH, COD D 各 12 （1 回／1 ヶ月）

（放流水）T-N, N-Hex h 各 2 （1 回／6 ヶ月）

（流入水）BOD, SS J 各 0

（流入水）PH, COD J 各 0

（流入水）T-N, N-Hex J 各 0

### 6) 中継ポンプ施設の保守点検

施設箇所数 0 ヶ所

### 7) 薬品使用量（塩素剤）

kg （別途支給）

## 8) 管理基本条件

### ①通常管理業務

施設管理者（発注者）と、その他関係者も含め詳細な打ち合わせの上、作業分担を作成し、点検項目に基づいて業務にあたります。また、この結果については「維持管理点検報告書」を提出いたします。

### ②緊急時管理

施設管理者（発注者）と綿密に協議を行った上に、下記を原則として体系の確立を行います。（処理施設）→警報「巡回管理責任者：即応体制」－「技術管理主任技術者：第2体制」－「土地連維持管理推進室：第3体制」→連絡、報告「施設管理者」

### ③日常管理

し漕回収集積所搬出、管理棟管理、場内整備（清掃）、植栽管理、除雪等、日常管理に係わる作業の一部については、本業務に含まれております。

### ④清掃業務（汚泥引き抜き、運搬、処分）

本業務には、処理施設内における汚泥の移送作業等の汚泥管理については、含まれておりますが、清掃業務については含まれておりません。但し、清掃時期の的確な判断、助言及び汚泥処理計画への協力や、清掃業者との連絡調整及び清掃時の立ち会い協力については、必要に応じ対応いたします。

### ⑤法定検査立ち会い

浄化槽法に基づく法定検査への立ち会い協力を含みます。

### ⑥啓蒙普及活動への協力

地元管理組合への指導助言や、施設使用者に対する講習会等啓蒙普及活動への協力対応をいたします。

### ⑦施設更新計画

施設の補修や更新計画への協力対応を含みます。

### ⑧中継ポンプ施設 無

### ⑨処理施設及び中継ポンプ施設の故障等不具合時の取扱

処理施設及び中継ポンプ施設に故障等が発生し場合は、施設管理者に故障発生連絡後、その故障箇所を特定し見積書を添付のうえ文書により報告していただきます。

## 9) 委託業務の引継等

### ①予備調査

委託業務を受託したものは、速やかに流入水量、水質及び処理施設の特性等の調査を行い、受託業務に支障ないよう努めなければならない。

### ②委託契約完了後の措置

1. 受託者は、委託契約期間が終了した場合、貸付された施設等について委託者の職員立会いを求め、速やかに原形に復して返還しなければならない。
2. 受託者は、翌年度の委託業務による正常な運転が継続できるよう、委託者の指示に従い引継ぎに必要な期間、委託業務に係る熟練者を配置しておかななければならない。

## 10) 技術者単価及び労務単価等について

技術者単価及び労務単価は、秋田県実施単価表（令和8年2月1日以降適用）に基づき積算しています。

以上の基本的事項に基づき費用積算を行います。

## 維持管理 三里 基本事項

### 1) 施設規模

処理方式 JARUS- I 1 系列  
計画処理人口 280 人  
供用率 93 %

### 2) 業務期間

自 令和 8 年 4 月 1 日  
至 令和 9 年 3 月 31 日

### 3) 基本管理回数

生物膜法  
巡回管理 2 週間に 1 回 = 年間 26 回 b AorF  
技術管理 1 ヶ月に 1 回 = 年間 12 回 C

### 4) 業務計上人員

本業務における人員について、施設構造及び整備状況により、その管理作業において、有毒ガスの発生や酸欠及び感電の危険性を伴う場合もあり、さらには各槽の深さや構造などから転落の危険性を伴うため、労働安全衛生法等、災害防止関係諸準則の厳守と労働災害防止を考慮し、管理につきましては 2 人 1 組での管理体制といたします。

- ・巡回管理－管理技術者（浄化槽管理士・巡回管理現場責任者）及び補助技術者
- ・技術管理－主任技術者（浄化槽技術管理者・業務責任者）

#### ①基準業務人員

##### I. 巡回管理（年間）

管理技術者 人  
補助技術者 人

##### II. 技術管理

主任技術者 人

#### ②補正值

I. 処理人口別補正 M 1 =

II. 供用率別補正  $\therefore$  供用率 93 % M 2 =

故に、総合補正值  $M = M 1 \times M 2 = \times =$

#### ③計上業務人員（基準業務人員×総合補正值）

##### I. 巡回管理

管理技術者（技師C） =  $\times$  = 人

補助技術者（技術員） =  $\times$  = 人

##### II. 技術管理

主任技術者（技師A） =  $\times$  = 人

### 5) 水質試験（浄化槽法第 1 1 条検査は含まない）

（放流水）BOD, SS D 各 12 （1 回／1 ヶ月）

（放流水）大腸菌数 h 各 2 （1 回／6 ヶ月）

（放流水）PH, COD D 各 12 （1 回／1 ヶ月）

（放流水）T-N, N-Hex h 各 2 （1 回／6 ヶ月）

（流入水）BOD, SS J 各 0

（流入水）PH, COD J 各 0

（流入水）T-N, N-Hex J 各 0

### 6) 中継ポンプ施設の保守点検

施設箇所数 0 ヶ所

### 7) 薬品使用量（塩素剤）

kg （別途支給）

## 8) 管理基本条件

### ①通常管理業務

施設管理者（発注者）と、その他関係者も含め詳細な打ち合わせの上、作業分担を作成し、点検項目に基づいて業務にあたります。また、この結果については「維持管理点検報告書」を提出いたします。

### ②緊急時管理

施設管理者（発注者）と綿密に協議を行った上に、下記を原則として体系の確立を行います。（処理施設）→警報「巡回管理責任者：即応体制」－「技術管理主任技術者：第2体制」－「土地連維持管理推進室：第3体制」→連絡、報告「施設管理者」

### ③日常管理

し渣回収集積所搬出、管理棟管理、場内整備（清掃）、植栽管理、除雪等、日常管理に係わる作業の一部については、本業務に含まれております。

### ④清掃業務（汚泥引き抜き、運搬、処分）

本業務には、処理施設内における汚泥の移送作業等の汚泥管理については、含まれておりますが、清掃業務については含まれておりません。但し、清掃時期の的確な判断、助言及び汚泥処理計画への協力や、清掃業者との連絡調整及び清掃時の立ち会い協力については、必要に応じ対応いたします。

### ⑤法定検査立ち会い

浄化槽法に基づく法定検査への立ち会い協力を含みます。

### ⑥啓蒙普及活動への協力

地元管理組合への指導助言や、施設使用者に対する講習会等啓蒙普及活動への協力対応をいたします。

### ⑦施設更新計画

施設の補修や更新計画への協力対応を含みます。

### ⑧中継ポンプ施設

月1回の保守点検及び年1回の洗浄清掃を含みます。

### ⑨処理施設及び中継ポンプ施設の故障等不具合時の取扱

処理施設及び中継ポンプ施設に故障等が発生し場合は、施設管理者に故障発生連絡後、その故障箇所を特定し見積書を添付のうえ文書により報告していただきます。

## 9) 委託業務の引継等

### ①予備調査

委託業務を受託したものは、速やかに流入水量、水質及び処理施設の特性等の調査を行い、受託業務に支障ないよう努めなければならない。

### ②委託契約完了後の措置

1. 受託者は、委託契約期間が終了した場合、貸付された施設等について委託者の職員立会いを求め、速やかに原形に復して返還しなければならない。
2. 受託者は、翌年度の委託業務による正常な運転が継続できるよう、委託者の指示に従い引継ぎに必要な期間、委託業務に係る熟練者を配置しておかななければならない。

## 10) 技術者単価及び労務単価等について

技術者単価及び労務単価は、秋田県実施単価表（令和8年2月1日以降適用）に基づき積算しています。

以上の基本的事項に基づき費用積算を行います。

## 維持管理 増沢 基本事項

### 1) 施設規模

処理方式 JARUS- I 1 系列  
 計画処理人口 360 人  
 供用率 96 %

### 2) 業務期間

自 令和 8 年 4 月 1 日  
 至 令和 9 年 3 月 31 日

### 3) 基本管理回数

生物膜法  
 巡回管理 2 週間に 1 回 = 年間 26 回 b AorF  
 技術管理 1 ヶ月に 1 回 = 年間 12 回 C

### 4) 業務計上人員

本業務における人員について、施設構造及び整備状況により、その管理作業において、有毒ガスの発生や酸欠及び感電の危険性を伴う場合もあり、さらには各槽の深さや構造などから転落の危険性を伴うため、労働安全衛生法等、災害防止関係諸準則の厳守と労働災害防止を考慮し、管理につきましては 2 人 1 組での管理体制といたします。

- ・巡回管理－管理技術者（浄化槽管理士・巡回管理現場責任者）及び補助技術者
- ・技術管理－主任技術者（浄化槽技術管理者・業務責任者）

#### ①基準業務人員

##### I. 巡回管理（年間）

管理技術者 人  
 補助技術者 人

##### II. 技術管理

主任技術者 人

#### ②補正值

##### I. 処理人口別補正

M 1 =

##### II. 供用率別補正

∴ 供用率 96 % M 2 =

故に、総合補正值  $M = M 1 \times M 2 = \times =$

#### ③計上業務人員（基準業務人員×総合補正值）

##### I. 巡回管理

管理技術者（技師C） = × = 人

補助技術者（技術員） = × = 人

##### II. 技術管理

主任技術者（技師A） = × = 人

### 5) 水質試験（浄化槽法第 1 1 条検査は含まない）

（放流水）BOD, SS D 各 12 （1 回／1 ヶ月）

（放流水）大腸菌数 h 各 2 （1 回／6 ヶ月）

（放流水）PH, COD D 各 12 （1 回／1 ヶ月）

（放流水）T-N, N-Hex h 各 2 （1 回／6 ヶ月）

（流入水）BOD, SS J 各 0

（流入水）PH, COD J 各 0

（流入水）T-N, N-Hex J 各 0

### 6) 中継ポンプ施設の保守点検

施設箇所数 1 ヶ所

### 7) 薬品使用量（塩素剤）

kg （別途支給）

## 8) 管理基本条件

### ①通常管理業務

施設管理者（発注者）と、その他関係者も含め詳細な打ち合わせの上、作業分担を作成し、点検項目に基づいて業務にあたります。また、この結果については「維持管理点検報告書」を提出いたします。

### ②緊急時管理

施設管理者（発注者）と綿密に協議を行った上に、下記を原則として体系の確立を行います。（処理施設）→警報「巡回管理責任者：即応体制」－「技術管理主任技術者：第2体制」－「土地連維持管理推進室：第3体制」→連絡、報告「施設管理者」

### ③日常管理

し渣回収集積所搬出、管理棟管理、場内整備（清掃）、植栽管理、除雪等、日常管理に係わる作業の一部については、本業務に含まれております。

### ④清掃業務（汚泥引き抜き、運搬、処分）

本業務には、処理施設内における汚泥の移送作業等の汚泥管理については、含まれておりますが、清掃業務については含まれておりません。但し、清掃時期の的確な判断、助言及び汚泥処理計画への協力や、清掃業者との連絡調整及び清掃時の立ち会い協力については、必要に応じ対応いたします。

### ⑤法定検査立ち会い

浄化槽法に基づく法定検査への立ち会い協力を含みます。

### ⑥啓蒙普及活動への協力

地元管理組合への指導助言や、施設使用者に対する講習会等啓蒙普及活動への協力対応をいたします。

### ⑦施設更新計画

施設の補修や更新計画への協力対応を含みます。

### ⑧中継ポンプ施設

月1回の保守点検及び年1回の洗浄清掃を含みます。

### ⑨処理施設及び中継ポンプ施設の故障等不具合時の取扱

処理施設及び中継ポンプ施設に故障等が発生し場合は、施設管理者に故障発生連絡後、その故障箇所を特定し見積書を添付のうえ文書により報告していただきます。

## 9) 委託業務の引継等

### ①予備調査

委託業務を受託したものは、速やかに流入水量、水質及び処理施設の特性等の調査を行い、受託業務に支障ないよう努めなければならない。

### ②委託契約完了後の措置

1. 受託者は、委託契約期間が終了した場合、貸付された施設等について委託者の職員立会いを求め、速やかに原形に復して返還しなければならない。
2. 受託者は、翌年度の委託業務による正常な運転が継続できるよう、委託者の指示に従い引継ぎに必要な期間、委託業務に係る熟練者を配置しておかななければならない。

## 10) 技術者単価及び労務単価等について

技術者単価及び労務単価は、秋田県実施単価表（令和8年2月1日以降適用）に基づき積算しています。

以上の基本的事項に基づき費用積算を行います。



## 維持管理 羽根山 基本事項

### 1) 施設規模

処理方式 JARUS- I 1 系列  
 計画処理人口 330 人  
 供用率 99 %

### 2) 業務期間

自 令和 8 年 4 月 1 日  
 至 令和 9 年 3 月 31 日

### 3) 基本管理回数

生物膜法

巡回管理 2 週間に 1 回 = 年間 26 回 b AorF  
 技術管理 1 ヶ月に 1 回 = 年間 12 回 C

### 4) 業務計上人員

本業務における人員について、施設構造及び整備状況により、その管理作業において、有毒ガスの発生や酸欠及び感電の危険性を伴う場合もあり、さらには各槽の深さや構造などから転落の危険性を伴うため、労働安全衛生法等、災害防止関係諸準則の厳守と労働災害防止を考慮し、管理につきましては 2 人 1 組での管理体制といたします。

- ・巡回管理－管理技術者（浄化槽管理士・巡回管理現場責任者）及び補助技術者
- ・技術管理－主任技術者（浄化槽技術管理者・業務責任者）

#### ①基準業務人員

##### I. 巡回管理（年間）

管理技術者 人  
 補助技術者 人

##### II. 技術管理

主任技術者 人

#### ②補正值

##### I. 処理人口別補正

M 1 =

##### II. 供用率別補正

∴ 供用率 99 % M 2 =

故に、総合補正值  $M = M 1 \times M 2 = \times =$

#### ③計上業務人員（基準業務人員×総合補正值）

##### I. 巡回管理

管理技術者（技師C） = × = 人

補助技術者（技術員） = × = 人

##### II. 技術管理

主任技術者（技師A） = × = 人

### 5) 水質試験（浄化槽法第 1 1 条検査は含まない）

（放流水）BOD, SS D 各 12 （1 回／1 ヶ月）

（放流水）大腸菌数 h 各 2 （1 回／6 ヶ月）

（放流水）PH, COD D 各 12 （1 回／1 ヶ月）

（放流水）T-N, N-Hex h 各 2 （1 回／6 ヶ月）

（流入水）BOD, SS J 各 0

（流入水）PH, COD J 各 0

（流入水）T-N, N-Hex J 各 0

### 6) 中継ポンプ施設の保守点検

施設箇所数 0 ヶ所

### 7) 薬品使用量（塩素剤）

kg （別途支給）

## 8) 管理基本条件

### ①通常管理業務

施設管理者（発注者）と、その他関係者も含め詳細な打ち合わせの上、作業分担を作成し、点検項目に基づいて業務にあたります。また、この結果については「維持管理点検報告書」を提出いたします。

### ②緊急時管理

施設管理者（発注者）と綿密に協議を行った上に、下記を原則として体系の確立を行います。（処理施設）→警報「巡回管理責任者：即応体制」－「技術管理主任技術者：第2体制」－「土地連維持管理推進室：第3体制」→連絡、報告「施設管理者」

### ③日常管理

し溜回収集積所搬出、管理棟管理、場内整備（清掃）、植栽管理、除雪等、日常管理に係わる作業の一部については、本業務に含まれております。

### ④清掃業務（汚泥引き抜き、運搬、処分）

本業務には、処理施設内における汚泥の移送作業等の汚泥管理については、含まれておりますが、清掃業務については含まれておりません。但し、清掃時期の的確な判断、助言及び汚泥処理計画への協力や、清掃業者との連絡調整及び清掃時の立ち会い協力については、必要に応じ対応いたします。

### ⑤法定検査立ち会い

浄化槽法に基づく法定検査への立ち会い協力を含みます。

### ⑥啓蒙普及活動への協力

地元管理組合への指導助言や、施設使用者に対する講習会等啓蒙普及活動への協力対応をいたします。

### ⑦施設更新計画

施設の補修や更新計画への協力対応を含みます。

### ⑧中継ポンプ施設 無

### ⑨処理施設及び中継ポンプ施設の故障等不具合時の取扱

処理施設及び中継ポンプ施設に故障等が発生し場合は、施設管理者に故障発生連絡後、その故障箇所を特定し見積書を添付のうえ文書により報告していただきます。

## 9) 委託業務の引継等

### ①予備調査

委託業務を受託したものは、速やかに流入水量、水質及び処理施設の特性等の調査を行い、受託業務に支障ないよう努めなければならない。

### ②委託契約完了後の措置

1. 受託者は、委託契約期間が終了した場合、貸付された施設等について委託者の職員立会いを求め、速やかに原形に復して返還しなければならない。
2. 受託者は、翌年度の委託業務による正常な運転が継続できるよう、委託者の指示に従い引継ぎに必要な期間、委託業務に係る熟練者を配置しておかななければならない。

## 10) 技術者単価及び労務単価等について

技術者単価及び労務単価は、秋田県実施単価表（令和8年2月1日以降適用）に基づき積算しています。

以上の基本的事項に基づき費用積算を行います。

## 維持管理 道城 基本事項

### 1) 施設規模

処理方式 JARUS- I 1 系列  
 計画処理人口 240 人  
 供用率 97 %

### 2) 業務期間

自 令和 8 年 4 月 1 日  
 至 令和 9 年 3 月 31 日

### 3) 基本管理回数

生物膜法  
 巡回管理 2 週間に 1 回 = 年間 26 回 B AorF  
 技術管理 1 ヶ月に 1 回 = 年間 12 回 C

### 4) 業務計上人員

本業務における人員について、施設構造及び整備状況により、その管理作業において、有毒ガスの発生や酸欠及び感電の危険性を伴う場合もあり、さらには各槽の深さや構造などから転落の危険性を伴うため、労働安全衛生法等、災害防止関係諸準則の厳守と労働災害防止を考慮し、管理につきましては 2 人 1 組での管理体制といたします。

- ・巡回管理－管理技術者（浄化槽管理士・巡回管理現場責任者）及び補助技術者
- ・技術管理－主任技術者（浄化槽技術管理者・業務責任者）

#### ①基準業務人員

##### I. 巡回管理（年間）

管理技術者 人  
 補助技術者 人

##### II. 技術管理

主任技術者 人

#### ②補正值

I. 処理人口別補正 M 1 =  
 II. 供用率別補正 ∴ 供用率 97 % M 2 =  
 故に、総合補正值 M = M 1 × M 2 = × =

#### ③計上業務人員（基準業務人員×総合補正值）

##### I. 巡回管理

管理技術者（技師C） = × = 人  
 補助技術者（技術員） = × = 人

##### II. 技術管理

主任技術者（技師A） = × = 人

### 5) 水質試験（浄化槽法第 1 1 条検査は含まない）

(放流水) BOD, SS D 各 12 (1 回 / 1 ヶ月)  
 (放流水) 大腸菌数 h 各 2 (1 回 / 6 ヶ月)  
 (放流水) PH, COD D 各 12 (1 回 / 1 ヶ月)  
 (放流水) T-N, N-Hex h 各 2 (1 回 / 6 ヶ月)  
 (流入水) BOD, SS J 各 0  
 (流入水) PH, COD J 各 0  
 (流入水) T-N, N-Hex J 各 0

### 6) 中継ポンプ施設の保守点検

施設箇所数 6 ヶ所

### 7) 薬品使用量（塩素剤）

kg (別途支給)

## 8) 管理基本条件

### ①通常管理業務

施設管理者（発注者）と、その他関係者も含め詳細な打ち合わせの上、作業分担を作成し、点検項目に基づいて業務にあたります。また、この結果については「維持管理点検報告書」を提出いたします。

### ②緊急時管理

施設管理者（発注者）と綿密に協議を行った上に、下記を原則として体系の確立を行います。（処理施設）→警報「巡回管理責任者：即応体制」－「技術管理主任技術者：第2体制」－「土地連維持管理推進室：第3体制」→連絡、報告「施設管理者」

### ③日常管理

し渣回収集積所搬出、管理棟管理、場内整備（清掃）、植栽管理、除雪等、日常管理に係わる作業の一部については、本業務に含まれております。

### ④清掃業務（汚泥引き抜き、運搬、処分）

本業務には、処理施設内における汚泥の移送作業等の汚泥管理については、含まれておりますが、清掃業務については含まれておりません。但し、清掃時期の的確な判断、助言及び汚泥処理計画への協力や、清掃業者との連絡調整及び清掃時の立ち会い協力については、必要に応じ対応いたします。

### ⑤法定検査立ち会い

浄化槽法に基づく法定検査への立ち会い協力を含みます。

### ⑥啓蒙普及活動への協力

地元管理組合への指導助言や、施設使用者に対する講習会等啓蒙普及活動への協力対応をいたします。

### ⑦施設更新計画

施設の補修や更新計画への協力対応を含みます。

### ⑧中継ポンプ施設 無

### ⑨処理施設及び中継ポンプ施設の故障等不具合時の取扱

処理施設及び中継ポンプ施設に故障等が発生し場合は、施設管理者に故障発生連絡後、その故障箇所を特定し見積書を添付のうえ文書により報告していただきます。

## 9) 委託業務の引継等

### ①予備調査

委託業務を受託したものは、速やかに流入水量、水質及び処理施設の特性等の調査を行い、受託業務に支障ないよう努めなければならない。

### ②委託契約完了後の措置

1. 受託者は、委託契約期間が終了した場合、貸付された施設等について委託者の職員立会いを求め、速やかに原形に復して返還しなければならない。
2. 受託者は、翌年度の委託業務による正常な運転が継続できるよう、委託者の指示に従い引継ぎに必要な期間、委託業務に係る熟練者を配置しておかなければならない。

## 10) 技術者単価及び労務単価等について

技術者単価及び労務単価は、秋田県実施単価表（令和8年2月1日以降適用）に基づき積算しています。

以上の基本的事項に基づき費用積算を行います。